

※事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（ポラーノ広場 2024年1月実施）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペース内に間仕切りをして視覚を遮る工夫をし、戸外遊びを取り入れたり、グループに分かれて活動したりと過ごしやすさを考えている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			制度に則り、適切な人員を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			和室の段差が少し高いと思われるが、他はバリアフリーに配慮している。トイレには多目的シートを設置している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月1回事業所会議やミニミーティングを開き、事業計画の行動目標に沿って職員全員で業務を振り返り、課題を整理している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年実施し、業務改善につなげている。年度末には事業所通信で保護者へフィードバックしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページでの公開を実施している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		隔月に1回、外部作業療法士のスーパービジョンを受け、事業内容や個別事例について
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月1回の法人職員研修、事業所内研修、事例検討を行っている。隔月1回法人リーダー研修、新任研修を行っている。外部研修は研修先に出向いたり、リモートでの研修の機会があった
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別の支援計画を作成しているか	○			子どもの状態をよく観て、保護者と連携し丁寧にアセスメントを行い、職員間で話し合いながら、年に2回個別の支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		保護者から提供されたアセスメントは支援の参考にしているが、標準化されたものではなく、本人、家族の思いに寄り添った支援をするために、個別支援計画やサポートカードを充実させ活用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動担当者の立案をもとに意見をかわしながらチームで行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			制作、運動、ダンス、ゲーム、園芸、外出等、子どもたちのリクエストに応じるなどニーズに合わせ工夫している

な 支 援 の 提 供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		祝日、長期休暇は子どもたちのニーズに合わせて、平日に計画しにくい外出や、時間をかけて取り組める内容を取り入れている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動計画を作成しているか	○		子どもたちの状況に応じて、個別に取り組む活動、集団で遊ぶ活動を行い、ごっこ遊びや興味のある活動を深められるよう計画している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		共通のミーリングを使い、支援開始前に活動内容、役割り分担について確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日の利用者の様子を記録し、振り返りを行い、気づいた点などを共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援者全員で日々の子どもたちの支援に関して正しく記録し、所内会議、ミニミーティング等で検証し改善につなげている
関 係 機 関 や 保 護	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス支援計画の見直しをしているか	○		年に2回（3月、9月）の個別の支援計画の作成・振り返りでモニタリングしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		自立支援と日常生活のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供、余暇の提供を組み合わせている
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必ず責任者、管理者が参加している
	21	学校との情報共有、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時や電話などで情報共有や連絡調整などを行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケアが必要な子どもは利用していないが必要に応じて行う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて行い、情報共有をしている
	24	中学生対象の放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	○		卒業後、継続してサービスを利用する場合、移行先の責任者へ会議などで情報提供している

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		隔月1回、OTからスーパービジョンを受けているが、専門機関との連携はできていないので、必要に応じて行う
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		児童館との交流はないが、公園・体育館・図書館等の地域に積極的に出かけ地域の方や子どもと出会い、交流する機会を意識して作るようにしている また、放課後等デイ開所日ではないが、毎月1回ずつ「あそび場」を企画している。 地域の子どもや大人が出会える場を設けている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			隔月開催される呉市自立支援協議会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			メールや送迎時に保護者と話をして子どもの成長を確認し合ったり、支援内容や様子について伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者からのニーズは把握しておらず、ペアレント・トレーニングは実施していない 研修の機会があれば参加する
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書等で説明し、変更があればその都度、書面と口頭で説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話や送迎時に保護者と話をする中で、必要に応じて保護者と丁寧に話す場を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			家族行事は、もちつき、とんどを実施した。共通の悩みをもつ保護者同士がつながりをもてるよう学習会を1回実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			職員間で共有し、改善策を考え、速やかに適切に対応するように心がけている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、法人が発行する会報や事業所通信で、行事や活動の様子をお知らせしている
35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書を取り交わす等、十分注意して行っている	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々に合わせ、分かりやすい伝え方を工夫している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		毎月1回あそび場として地域に開放している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各マニュアルを策定し職員には周知している。保護者には必要に応じて知らせているが、全ては周知できていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回の火災、1回の地震（津波）を想定した避難訓練を実施し、消防士から災害と避難について話を聞いた、その様子は通信で保護者にお知らせしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回法人職員研修、年に1回事業所内研修を行い、毎月の業務点検でリスクについて確認している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別の支援計画に記載しているか		○	現在、身体拘束を行っているケースはないが、今後あれば話し合いを重ね、十分に説明し了解を得て、計画書に記載する流れを徹底する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者からの情報に基づき、サポートカードに記載し、対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットをその都度法人内メーリングで共有しファイリングし、会議で未然防止策について確認している